

出雲商工会議所管内 業種別景況（平成30年7月～9月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年7月～9月期）と比べた 今期（平成30年7月～9月期）の状況				前期（平成30年4月～6月期）と比べた 今期（平成30年7月～9月期）の状況				今期（平成30年7月～9月期）と比べた 来期（平成30年10月～12月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	33.3	26.7	40.0	△ 6.7	35.0	30.0	35.0	0.0	51.7	25.0	23.3	28.3
2 採算	20.0	43.3	36.7	△ 16.7	21.7	51.7	26.7	△ 5.0	30.0	48.3	21.7	8.3
3 仕入単価	33.3	60.0	6.7	26.7	26.7	66.7	6.7	20.0	30.0	65.0	5.0	25.0
4 従業員数					6.7	86.7	6.7	0.0	11.7	83.3	5.0	6.7
5 資金繰り					5.0	76.7	18.3	△ 13.3	16.7	70.0	13.3	3.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		23.3	48.3	28.3		-5.0		23.3	48.3		28.3	-5.0		3.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	33.9	1.7	5.1	40.7	8 設備店舗の狭小・老朽化	6.8	11.9	6.8	25.4
2 大企業進出による競争激化	3.4	10.2	5.1	18.6	9 取引条件の悪化	1.7	0.0	1.7	3.4
3 製品・商品単価の下落	0.0	6.8	5.1	11.9	10 事業資金の確保難	3.4	5.1	5.1	13.6
4 原材料高及び不足	8.5	20.3	5.1	33.9	11 需要の停滞	11.9	8.5	5.1	25.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	1.7	1.7	3.4	12 円相場に伴う経営への影響	1.7	0.0	3.4	5.1
6 人手不足	20.3	15.3	10.2	45.8	13 その他	1.7	5.1	5.1	11.9
7 人件費の増加	6.8	3.4	11.9	22.0	無回答	0.0	10.2	28.8	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《製造業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年7月～9月期)と比べた 今期(平成30年7月～9月期)の状況				前期(平成30年4月～6月期)と比べた 今期(平成30年7月～9月期)の状況				今期(平成30年7月～9月期)と比べた 来期(平成30年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	37.5	25.0	37.5	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0	75.0	0.0	25.0	50.0
2 採算	37.5	25.0	37.5	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0	50.0	12.5	37.5	12.5
3 仕入単価	37.5	50.0	12.5	25.0	25.0	62.5	12.5	12.5	25.0	75.0	0.0	25.0
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0
5 資金繰り	/	/	/	/	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	37.5	37.5	25.0	12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) DI (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		37.5	25.0	37.5		0.0		25.0	37.5		37.5	△ 12.5		12.5

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	50.0	0.0	0.0	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	25.0	25.0	50.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	25.0	0.0	25.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	12.5	12.5
4 原材料高及び不足	12.5	50.0	0.0	62.5	11 需要の停滞	12.5	0.0	0.0	12.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	25.0	0.0	0.0	25.0	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	0.0	37.5	37.5	無回答	0.0	0.0	25.0	-

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 仕事为天候に左右されることが多いため、最近の気候変動が心配される。
- ・ 官公庁を中心として発注が減少していることにより受注が減少している。
- ・ 消費増税によって価格の転嫁を行う必要がある。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年7月～9月期）と比べた 今期（平成30年7月～9月期）の状況				前期（平成30年4月～6月期）と比べた 今期（平成30年7月～9月期）の状況				今期（平成30年7月～9月期）と比べた 来期（平成30年10月～12月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	50.0	12.5	37.5	12.5	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	75.0	12.5	12.5	62.5
2 採算	25.0	75.0	0.0	25.0	12.5	87.5	0.0	12.5	50.0	50.0	0.0	50.0
3 仕入単価	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	62.5	12.5	12.5	37.5	50.0	12.5	25.0
4 従業員数					12.5	87.5	0.0	12.5	25.0	75.0	0.0	25.0
5 資金繰り					25.0	75.0	0.0	25.0	12.5	75.0	12.5	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		37.5	50.0	12.5		25.0		37.5	50.0		12.5	25.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.0	0.0	0.0	25.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	12.5	0.0	12.5
2 大企業進出による競争激化	0.0	12.5	0.0	12.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	12.5	12.5
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	12.5	12.5
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	0.0	12.5	0.0	12.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	62.5	25.0	12.5	100.0	13 その他	0.0	0.0	12.5	12.5
7 人件費の増加	12.5	12.5	12.5	37.5	無回答	0.0	25.0	37.5	-

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 来年10月の消費増税による工事案件が増加しているが、増税後の対策を検討する必要がある。
- ・ 人材不足（特に職人の）が深刻化しており、広島県の豪雨災害の復旧により拍車をかけている。
- ・ 人材不足の対策のため学校の採用関係者との接点を作りたい。

《卸・小売業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年7月～9月期）と比べた 今期（平成30年7月～9月期）の状況				前期（平成30年4月～6月期）と比べた 今期（平成30年7月～9月期）の状況				今期（平成30年7月～9月期）と比べた 来期（平成30年10月～12月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	27.8	33.3	38.9	△ 11.1	38.9	27.8	33.3	5.6	38.9	27.8	33.3	5.6
2 採算	5.6	50.0	44.4	△ 38.9	22.2	50.0	27.8	△ 5.6	22.2	50.0	27.8	△ 5.6
3 仕入単価	33.3	61.1	5.6	27.8	22.2	72.2	5.6	16.7	33.3	61.1	5.6	27.8
4 従業員数					11.1	83.3	5.6	5.6	5.6	83.3	11.1	△ 5.6
5 資金繰り					0.0	72.2	27.8	△ 27.8	11.1	77.8	11.1	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	44.4	38.9		-22.2		11.1	55.6		33.3	-22.2		5.9

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	44.4	0.0	5.6	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	5.6	5.6	5.6	16.7
2 大企業進出による競争激化	0.0	5.6	11.1	16.7	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	11.1	16.7	27.8	10 事業資金の確保難	5.6	16.7	5.6	27.8
4 原材料高及び不足	11.1	11.1	0.0	22.2	11 需要の停滞	11.1	16.7	0.0	27.8
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	5.6	5.6	11.1	12 円相場に伴う経営への影響	5.6	0.0	11.1	16.7
6 人手不足	5.6	22.2	16.7	44.4	13 その他	5.6	0.0	0.0	5.6
7 人件費の増加	5.6	5.6	11.1	22.2	無回答	0.0	0.0	11.1	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 業界のトレンドの変化への対応が必須のため、これからの動向に注目しておく必要がある。
- ・ 家電業界では4K8K衛星放送が12月より開始されるため、対応テレビの需要が増える。
- ・ 大企業の安売りによって、仕入れ価格の上昇分を価格に転嫁できない。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成29年7月～9月期）と比べた 今期（平成30年7月～9月期）の状況				前期（平成30年4月～6月期）と比べた 今期（平成30年7月～9月期）の状況				今期（平成30年7月～9月期）と比べた 来期（平成30年10月～12月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	35.7	42.9	21.4	14.3	35.7	42.9	21.4	14.3	28.6	57.1	14.3	14.3
2 採算	21.4	42.9	35.7	△ 14.3	14.3	64.3	21.4	△ 7.1	14.3	71.4	14.3	0.0
3 仕入単価	14.3	78.6	7.1	7.1	14.3	78.6	7.1	7.1	28.6	64.3	7.1	21.4
4 従業員数					0.0	85.7	14.3	△ 14.3	14.3	78.6	7.1	7.1
5 資金繰り					0.0	78.6	21.4	△ 21.4	14.3	71.4	14.3	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		21.4	71.4	7.1		14.3		21.4	64.3		14.3	7.1		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	23.1	7.7	15.4	46.2	8 設備店舗の狭小・老朽化	7.7	0.0	7.7	15.4
2 大企業進出による競争激化	7.7	23.1	7.7	38.5	9 取引条件の悪化	7.7	0.0	0.0	7.7
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	7.7	0.0	0.0	7.7
4 原材料高及び不足	7.7	7.7	0.0	15.4	11 需要の停滞	15.4	0.0	0.0	15.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	15.4	7.7	7.7	30.8	13 その他	0.0	23.1	7.7	30.8
7 人件費の増加	7.7	0.0	7.7	15.4	無回答	0.0	30.8	46.2	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 業種に関わる新たな取り組みを行うことで、新たな顧客の開拓を行う。
- ・ 消費者意欲の低下のためか、顧客の来店頻度が少なくなっている。
- ・ 周年イベントや各種イベントへの参加を行い、顧客開拓や売上の拡大を企図している。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成29年7月～9月期)と比べた 今期(平成30年7月～9月期)の状況				前期(平成30年4月～6月期)と比べた 今期(平成30年7月～9月期)の状況				今期(平成30年7月～9月期)と比べた 来期(平成30年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	25.0	8.3	66.7	△ 41.7	41.7	8.3	50.0	△ 8.3	66.7	8.3	25.0	41.7
2 採 算	25.0	25.0	50.0	△ 25.0	25.0	33.3	41.7	△ 16.7	33.3	41.7	25.0	8.3
3 仕 入 単 価	58.3	33.3	8.3	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	75.0	0.0	25.0
4 従 業 員 数	/	/	/	/	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	0.0	91.7	8.3	△ 8.3	16.7	75.0	8.3	8.3

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	41.7	41.7		-25.0		33.3	25.0		41.7	-8.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.0	0.0	0.0	25.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	16.7	25.0	0.0	41.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	8.3	8.3	0.0	16.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	8.3	41.7	25.0	75.0	11 需 要 の 停 滞	16.7	8.3	25.0	50.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	16.7	16.7	8.3	41.7	13 そ の 他	0.0	0.0	8.3	8.3
7 人 件 費 の 増 加	8.3	0.0	0.0	8.3	無 回 答	0.0	0.0	33.3	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 忘年会や新年会のシーズンになるため、DMやSNSなどにより誘客を行う予定としている。
- ・ 店舗内の各種設備が老朽化しており、設備の故障の際の資金繰りに苦慮する懸念がある。
- ・ 消費税増税や軽減税率の導入への対応や価格転嫁を行う必要がある。